

事業所名		ラポール発達教室Advance				支援プログラム（参考様式）		作成日		2025	年	1	月	15	日
法人（事業所）理念		あなたに会いたい。あなたを知りたい。あなたと一緒に笑いたい。													
支援方針		・保有する感覚について把握し、安心、安全な環境で過ごせるようにする。 ・得意なことや配慮すべき点を行動観察や検査を通して理解し、お子様に適した支援を行う。 ・活動の中でその子に合った気持ちの抑制方法をスモールステップで育む。 ・基本的言語コミュニケーションに必要なことが学べるようにする。 ・人との関りを通して、社会のマナーやルールを学び適応行動を増やす。													
営業時間		9時		0分から		18時		0分まで		送迎実施の有無		あり		なし	
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	健康で安定した通所ができる。 ・健康状態の把握。 ・児に適した温度や明るさ、場所などに配慮して過ごしやすい環境を設ける。 ・場所の明確化を行い、集中して取り組める環境を作る。 ・見通しを持ち、安心して活動できるようにする。 ・基本的生活スキル（身だしなみ、トイレ、準備や片付けなど）を活動を通して学ぶ。													
	運動・感覚	身体の成長にあった支援を行い感覚の平衡化を目指す。 ・身体の発達段階に合わせ、集中して取り組めるよう物理的環境を整える。 ・リズムに合わせたり模倣をしたりするような遊びを通して身体の使い方を知っていく。 ・感覚過敏に対して配慮する。（光、音、動作、感触等） ・着脱や排泄、整理整頓など生活において必要な動作を培う。（特別支援学校・学級コース）													
	認知・行動	一人一人の特性を検査や行動観察を通して把握し、本人が理解しやすい方法で支援する。 ・得意なことや配慮すべき点を行動観察や検査を通して知り、本人の特性にあった支援を行う。 ・活動の中でその子に合った気持ちの抑制方法をスモールステップで学ぶ。 ・学習の取りこぼしが無いように定期的に検査を行い、振り返り学習も取り入れながら確実な定着を目指す。 ・その子なりの目標を大切にし、やり遂げる経験を多くしていく。 ・生活に必要な作業課題（マッチング、文字、書字、動作模倣、分類、数など）を療育者と一緒にいながら取得できるように支援していく。（特別支援学校・学級コース）													
	言語コミュニケーション	言語の受信と発信を促し、本人の特性に応じた言語コミュニケーション力を育む。 ・語彙（名詞、形容詞、動詞、助詞、上位概念など）を増やし、理解できる語彙を増やす。 ・基本的言語コミュニケーションの概念やルールを学ぶ。 ・自分の要求を相手に伝えるためのコミュニケーションツール（指差しやジェスチャー、言葉、文字、タブレットの活用など）を増やしていく。（特別支援学校・学級コース） ・言語未発達段階の児童においては出せる音を大切に増やしていく。（特別支援学校・学級コース）													
	人間関係社会性	多様な体験を通して、他者との関わり方や社会のマナー、ルールを学び適応行動を増やす。 ・療育者との信頼関係を基盤として安心して活動に参加できるようにする。 ・お友だちと意見交換をしたり協力したりするなどの活動を通して、人と関わることの楽しさを知る。 ・今後、社会生活で必要になる報告、連絡、相談等を学び、円滑な人間関係が構築できるよう支援する。 ・外的動機づけを上手く活用しながら内的動機（やってみたい、やりたいと思える気持ち）の発生へとつなげていく。 ・集団活動の中で役割を担ったり決められたルールを守ったりする等のソーシャルスキルトレーニングを通して社会性を培う。 ・自分のやるべきことが分かるようにスケジュールに慣れる。（特別支援学校・学級コース）													

家族支援	保護者と面談や電話などで相談を行っていく。また、必要に応じて子育てサポートなどで療育の様子を動画などでご覧いただき、児の発達に関することや特性について保護者と一緒に考えていく。また、レスパイト支援を行う。	移行支援	・ライフステージの切り替えで必要なことを療育に取り入れ、スムーズな移行を目指す。ご家庭の環境を考慮し、社会資源と連携できるよう思案していく。
地域支援・地域連携	・必要に応じて相談機関や関係機関との連携を図る。また、保育所等訪問支援の活用も提案して、家族を包括的に支援していく。 ・名東区自立支援連絡協議会（そだつ部会）へ参加し連携を図る。	職員の質の向上	月1回程度の事業所内研修もしくは、外部研修を実施している。また、その他必要な研修を随時行っている。 資格支援制度があり、職員の資格取得を補助している。
主な行事等	・月1回程度子どもたちと一緒に避難訓練を行う。また、職員で避難経路の確認を行い災害時に備えている。 ・事業所内の備品や設備などの点検を定期的に行い、事業継続（BCP）に心がけ途切れない支援ができるように備えている。		